

看護の統合と実践

専門分野

| 授業科目       | 救急看護実習   | 講師 | 氏名   | 権田園美  | 開講年次      | 単位・時間       |
|------------|--|----|------|-------|-----------|-------------|
|            |  |    | 所属   | 専任教員  | 3年次<br>後期 | 1単位<br>30時間 |
|            |  |    | 実務経験 | 臨床看護師 |           |             |
| 科目のねらい     | 急性期の健康状態にある対象を理解し、その対象と家族への適切な看護を行うための看護実践能力を養う。   |    |      |       |           |             |
| 到達目標       |  |    |      |       |           |             |
| 知識・技術      | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 救急医療を必要とする対象と家族の特徴について説明できる。</li> <li>2. 救急外来の特徴と役割を説明できる。</li> <li>3. ICUの特徴と役割を説明できる。</li> <li>4. 手術室の特徴と役割を説明できる。</li> <li>5. 手術中に起こりうる危険性について説明できる。</li> <li>6. 生命維持に受けたチーム医療の連携について説明できる。</li> <li>7. 救急看護の役割機能を認識し、基本的な援助を実践する。</li> </ol>   |    |      |       |           |             |
| 思考・判断・表現   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術・麻酔や処置により、対象が受けた侵襲についてアセスメントすることができる。</li> <li>2. 対象の苦痛の緩和や異常の早期発見と看護実践を提案することができる。</li> <li>3. 対象の身体的・精神的苦痛を回避するための援助を提案できる。</li> <li>4. 対象のQOLの維持・向上を考え安寧に向けた看護実践を提案することができる。</li> <li>5. 突然の危機状況に陥った対象とその家族の心理状態を理解し、必要な看護を提案することができる。</li> </ol>   |    |      |       |           |             |
| 主体的学習態度    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 救急医療に必要な知識・技術に関する文献検索をすることができる。</li> <li>2. 人権尊重、生命の尊厳、生死観について自己の考えを整理し述べることができる。</li> </ol>   |    |      |       |           |             |
| 実習期間及び実習時間 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習期間：5日間 実習オリエンテーション2時間 手術室2日（12時間）<br/>ICU（救急外来含む）2日（12時間） まとめ1日（4時間）</li> <li>2. 実習時間：原則として8：30～14：00</li> </ol>   |    |      |       |           |             |
| 実習内容及び実習方法 | <p>【実習オリエンテーション】<br/>（実習内容）<br/>①実習の進め方や概要を知る。</p> <p>【救急外来】<br/>（実習内容）<br/>①救急医療を必要とする対象と家族の特徴について理解する。<br/>②救急初療における看護師の役割について理解する。<br/>③迅速かつ的確なフィジカルアセスメントおよびクリティカルケアの重要性を理解する。<br/>（実習方法）救急搬送された患者を担当する看護師に同行し、看護実践の見学および看護師と共に看護を実践する。</p> <p>【手術室】<br/>（実習内容）<br/>①手術室における看護師の役割について理解する。<br/>②手術室での多職種との連携と看護師の役割を理解する。<br/>（実習方法）器械出し看護師と外回り看護師と行動を共にし、手術室看護師の看護を見学する。</p> <p>【ICU】<br/>（実習内容）<br/>①集中治療を必要とする対象と家族の特徴について理解する。<br/>②ICUにおける看護師の役割について理解する。<br/>③ICUでの多職種との連携と看護師の役割について理解する。<br/>（実習方法）看護師と行動を共にし、ICU看護師の看護を見学・実践する。</p> <p>【まとめ】<br/>（実習内容）当該実習終了後に実習での学びを共有する<br/>（実習方法）各自で各実習場所での学びをまとめ、グループ間で共有する。その後全体での発表において学びを共有する。</p> |    |      |       |           |             |
| 実習施設       | 社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院  |    |      |       |           |             |
| 評価方法及び評価基準 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「評価規程」および「実習に関する規程」、「追実習及び再実習に関する規程」に基づいて行う。</li> <li>2. 救急看護実習の実習状況を基に、評価表により評価する。<br/>手術室40% ICU（救急外来）40% まとめ20% 合計100%</li> </ol>   |    |      |       |           |             |
| テキスト・参考文献  | 詳細は、救急看護実習実習要領および実習オリエンテーション時配布資料を参照してください。  |    |      |       |           |             |
| 留意事項       | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受け持つことの責任を十分に認識し、あらゆる準備をしっかりと行う。特に、人体の構造と機能は最も基礎となる科目であり、復習をしておく。</li> <li>2. 看護学生として、フィジカルアセスメント、日常生活援助は、その技術を主体的に身に付けて行くことが求められる。よって、実習開始までに十分に練習し身に付けておくこと。</li> </ol>  |    |      |       |           |             |